

## FP (陰茎がん)

CDDP (シスプラチン) 100mg/m<sup>2</sup>

フルオロウラシル 1000mg/m<sup>2</sup>

4週間を1コースとして

CDDP は day1 のみ点滴静注

FU は day1-5 まで持続点滴静注 24hour を 5 回

### Day1

①主管で生食 500mL でルート確保 8時間程度

側管より以下の順に投与

(1)生食等の輸液 500mL 投与 2-3時間

(2)生食等の輸液 500mL 投与 2-3時間

(3)CDDP 投与 1時間程度前にアプレピタント 125mg 内服

(4)生食 50mL+デカドロン 3.3mg 3A+グラニセロトン 3mg 1A 15分

(5)生食 500mL+CDDP100mg/m<sup>2</sup> 投与 2時間

(6)生食 50mL でルート内フラッシュ

(7)生食 500mL+フルオロウラシル 1000mg/m<sup>2</sup> 投与 24時間

②主管より生食等の輸液 500mL 投与 8時間

③主管より生食等の輸液 500mL 投与 8時間

### Day2-3

アプレピタント(80) 1C 1x 朝食後内服

デカドロン(4) 2T 1x 朝食後内服

①主管より生食等の輸液 500mL 投与 8時間

側管より前日の分が投与終了後、生食 500mL+フルオロウラシル  
1000mg/m<sup>2</sup> 投与 24時間

②主管より生食等の輸液 500mL 投与 8時間

③主管より生食等の輸液 500mL 投与 8時間

### Day4

デカドロン(4) 2T 1x 朝食後内服

①主管より生食等の輸液 500mL 投与 8時間

側管より前日の分が投与終了後、生食 500mL+フルオロウラシル  
1000mg/m<sup>2</sup> 投与 24時間

②主管より生食等の輸液 500mL 投与 8時間

③主管より生食等の輸液 500mL 投与 8時間

## FP (陰茎がん)

### Day5

デカドロン(4) 2T 1x 朝食後内服

①主管より生食等の輸液 500mL 投与 8時間

側管より前日の分が投与終了後、生食 500 mL+フルオロウラシル  
1000mg/m<sup>2</sup> 投与 24時間

②主管より生食等の輸液 500mL 投与 8時間

③主管より生食等の輸液 500mL 投与 8時間

④生食 50mL でルート内フラッシュ後抜針